

学科 学年	M1 S1 C1	科目 分類	保健体育 Physical Education	実技 必修	通年 2履修 単位	学習教育 目標 E	担当	渡辺志保美 WATANABE Shihomi
概要	生涯にわたるスポーツライフを営んでいく上で、新しい運動を自分で習得したり、集団で運動を楽しむということは重要なファクターとなる。新しい運動を自分で習得していくためには、運動技術をどのように身体化していくのかという問題を解決しなければならず、集団で運動を楽しむためには運動の戦術についての知識を獲得し、それを実践していくということが重要になる。本授業においては、運動技術の身体化という問題を陸上競技を教材として取り上げ、課題技の習得・習熟をしていく中で理解していく。また、バスケットボールの授業を用いて、スポーツにおける戦術を学習していくことにより、集団で運動を楽しむ方法を理解していく。また、運動実施上の安全に関する知識を学習する。							
科目目標 (到達目標)	陸上競技では、学生の能力にあった課題を選択させ、技術の獲得および、習熟度を向上させる。バスケットボールでは、集団の特性にあった防御を選択させ、ゲームの展開ができるようにする。							
教科書・器材等	テキストは特に使用しない。							
評価の基準と 方法	実技試験の成績（到達度）を80%、授業への参加率、参加態度、仲間との協力状況を20%として評価する。60点以上を合格とする。							
関連科目								
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	ガイダンス						
第2回		短距離走・						
第3回		リレー						
第4回		1. 現状把握（記録測定）						
第5回		2. 基礎技能の練習（スタート）						
第6回		3. 基礎技能の練習（加速）						
第7回		4. 基礎技能の練習（等速）						
第8回		5. 基礎技能の練習（持久）						
第9回		6. 課題の練習						
第10回		7. 記録測定・チーム分け						
第11回		8. 基礎技能の練習						
第12回		9. 課題の練習						
第13回		10. 課題の練習						
第14回		11. 実技試験・記録測定						
第15回		スポーツライフにおける安全の確保 1						
第16回		スポーツライフにおける安全の確保 2						
第17回		スポーツライフにおける安全の確保 3						
第18回		バスケット						
第19回		1. 現状技能の把握						
第20回		2. 現状技能の把握・チーム分け						
第21回		3. 基礎技能の練習（フットワーク）						
第22回		4. 基礎技能の練習（シュート）						
第23回		5. 基礎技能の練習（パス）						
第24回		6. 基礎技能の練習（ドリブル）						
第25回		7. 集団技能の練習（オフェンス）						
第26回		8. 集団技能の練習（オフェンス）						
		9. 集団技能の練習（ディフェンス）						
		10. 集団技能の練習（ディフェンス）						
		11. ゲーム形式での総合練習						

第27回		12．ゲーム形式での総合練習
第28回		13．ゲーム形式での総合練習
第29回	×	14．実技試験
第30回	×	15．実技試験
オフィスアワー		放課後に、質問等に対応することができる。
授業アンケートへの対応		授業内容の改善をすることにより対応する。
備考		
更新履歴		060110 新規